

9 月 28 日 : VN 指数は反発 (VN-Index -0.12%)

- VN 指数は昨晚の米国株と同様の動きだった。午前中は売りが優勢だったが、午後に入り押し目買いが優勢となった。
- 午前中の取引はわずかな下落から始まった。銀行、金融サービス、不動産セクターが下落し、指数は押し下げられた。
- 午後に入ると、押し目買いが優勢となった。石油ガスセクターは原油価格の上昇に沿って上昇していた。米国の原油在庫の下落が、OPEC の減産と伴って、供給サイドへの懸念が高まった。
- 引けにかけて買いが増加し、午前中の下落をほとんど取り返して取引を終えた。
- 211 銘柄が上昇、282 銘柄が下落、変わらずは 59 銘柄と下落銘柄数が上回った。
- 流動性はさらに低下し、売買代金は 15.8 兆ドンだった。

VN30 指数は下げを主導 (VN30 -0.36%)

- 大型株で構成する VN30 指数は 10 銘柄が上昇、18 銘柄が下落、2 銘柄が変わらずだった。
- SSB (-4.76%) が最も大きく下落、STB (-3.30%) がそれに続いた。
- 一方、PLX (+3.28%)、TCB (+3.28%)、GAS (+2.92%) などが上昇し相場を支えていた。

セクター・個別株の動き

- MWG (+1.92%) に関して GIC やタイの企業が小売りチェーンである Bach Hoa Xanh の 20%の株式の購入を検討かというニュースをロイター通信が伝えている。
- HTN (-3.87%) は既存株主への増資を発表したが下落している。
- 外国人投資家は 5,030 億ドンの売り越しとなった。VCG には最も買いが集まっていた。一方、STB は利益確定で売られていたようだ。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。